

## DAT72ユニット・DAT72オートローダ 運用チェックシート (設置・運用確認編)

お客様へ

この度は弊社DAT72装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

DAT72装置は精密機器であり、日々の運用(クリーニング運用・データカセット管理・設置環境等)を誤るとバックアップ失敗などのトラブルに繋がります。

つきましては、トラブルを防止するために『運用チェックシート』を設けましたので、バックアップ運用のご確認をお願いいたします。

分類	No	チェック覧	チェック項目	解説と作業内容(●)
クリーニング運用	①	Yes? <input type="checkbox"/>	[週に一回以上使用する定期運用の場合] 毎週、クリーニングを行う運用になっていますか？ [不定期に使用する運用の場合] 一ヶ月に一度の割合で、 クリーニングを行う運用になっていますか？	DAT72装置は使用・未使用に関わらず磁気ヘッドが汚れるため、定期クリーニングが必要です。ヘッド等が汚れた状態では、テープ表面を傷つけ、データカセットが短期間に使用できなくなる場合があります。なお、メンテナンス時期を忘れないために、バックアップ環境支援ツール『Fujitsu Tape Maintenance Advisor』をご使用いただくことで、メンテナンス時期をオペレータの方へ自動通知することができます。 ●[定期運用] クリーニングは、1週間毎(1週間に25時間以上バックアップする場合は25時間使用毎)にクリーニングしてください。
	②	Yes? <input type="checkbox"/>	[オートローダ装置の場合] バックアップソフトウェアの「自動クリーニング機能」を使用する運用になっていますか？	●[不定期運用] DAT72装置を未使用の場合でも、空気中の塵埃等により磁気ヘッドは汚れていきます。一ヶ月に一度はクリーニングしてください。 ●[オートローダ装置] バックアップソフトウェアの「自動クリーニング」機能を使用して、自動で定期的なクリーニングを行ってください。
	③	Yes? <input type="checkbox"/>	CLEANランプが点灯または点滅したとき、クリーニングを行う運用になっていますか？	CLEANランプが点灯または点滅したまま使用を続けると、データカセットやバックアップデータを損傷する場合があります。また、データカセットが消耗しヘッド等を汚していることが考えられます。 ●CLEANランプが点灯または点滅したときには直ちにクリーニングを実施してください。再発時はデータカセット交換を検討願います。
	④	Yes? <input type="checkbox"/>	クリーニングカセットの交換周期は、ご使用のDAT72装置の交換周期(約30回、又は、約50回)になっていますか？ また、クリーニングカセットの右側リールに巻き取られている場合、新品と交換する運用になっていますか？	クリーニングカセットは、ご使用のDAT72装置の種類により使用回数が決まっています。 ※クリーニングカセットは、“右側リールにすべて巻き取られている”と使い切っている状態です。 ●運用に合わせて定期的に交換するようにしてください。 (例:PG-DT502/DT502D/DT502D2/DT503Dは約30回、PG-DT501/DT504/DT5041/DT504D/DTA103は約50回)
	⑤	Yes? <input type="checkbox"/>	クリーニングカセットを入れても自動的に排出されず、Cleanランプが点滅するとき、クリーニングカセットを交換する運用になっていますか？	装置にクリーニングカセットを入れても自動的に排出されず、Cleanランプが点滅するときは、クリーニングカセットを使い切っています。 ●上記のような場合は新しいクリーニングカセットに交換してください。
データカセット管理	⑥	Yes? <input type="checkbox"/>	データカセットの使用回数は、75回を越えない交換周期の運用になっていますか？	データカセットは消耗品です。消耗したデータカセットはテープ表面が傷つき、ヘッド汚れの増加、媒体エラー多発等の不具合の原因となります。データカセットの消耗によるバックアップ失敗防止するため、富士通純正品で[1]使用回数:75回、[2]使用期間:1年(オートローダ装置の場合は6ヶ月)、のどちらか早い方を目安に交換が必要です。
	⑦	Yes? <input type="checkbox"/>	データカセットに使用開始日を書いていますか？ (交換目安:単体ユニットは1年、オートローダは半年)	●上記に該当する場合は、新しいデータカセットに交換してください。※データカセットは富士通純正品を使用されることをお勧めします。
	⑧	Yes? <input type="checkbox"/>	バックアップ時、直ぐにCLEANランプが点灯/点滅するような場合や、データカセット排出遅延/排出不可の際は、データカセットを交換する運用になっていますか？	データカセットが寿命に達している場合、バックアップ中にヘッド汚れ等を検出し、CLEANランプ点灯または点滅しやすくなります。また、データカセットの排出に時間がかかったり、データカセットが排出できなくなる場合があります。 ●このような現象の場合、使用回数/期間に関わらず、データカセットを新しいものに交換し様子を見てください。その際、他のデータカセットの使用回数/期間をチェックし、交換周期に近づいているデータカセットは傷みが進行している場合がありますので全て交換することをお勧めします。
⑨	Yes? <input type="checkbox"/>	[単体ユニットの場合] バックアップ直前にデータカセットを投入し、バックアップ直後にデータカセットを取り出して専用ケースに入れて保管する運用ですか？	データカセットのデータ記録面は、DAT72装置内で露出し、テンション(張力)によりヘッド等と接触しています。この状態が長く続くと浮遊塵埃やテンションの影響を受けやすく、データカセットの寿命低下/バックアップ時のエラー発生/DAT72装置故障などの原因となることがあります。 ●データカセットは使用前に装置にセットし、使用後は直ちに取出して、ケースに入れて保管してください。	
設置環境	⑩	Yes? <input type="checkbox"/>	DAT72装置(サーバ内蔵の場合はサーバ本体)の周囲はホコリの少ない環境ですか？	DAT72装置は、データ記録面が装置内部で露出するため、設置環境(特に塵埃)の影響を受けやすい装置です。一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお勧めします。 ●“避けて頂きたい設置例”を参考に、よりホコリの少ない環境に設置するよう配慮をお願い致します。 [避けていただきたい設置例] ◆装置を床に直置き ◆人通りの多い場所、 ◆開放されるドアや窓の近く。特に土埃や車の排気ガス、等の外部の影響を受ける場所 ◆空気の取り込み口、吹き出し口の近く。(空調、エアコン、換気扇、等に注意) ◆タバコの煙の影響を受ける場所(装置が設置された部屋での喫煙禁止)、 ◆プリンタの近くでトナーの影響を受ける場所 ◆コピー機、シュレッダー、FAX、等、紙を扱う装置の近くで、紙の粉の影響を受ける場所 ◆設置後、数ヶ月でテープ投入口や周囲に塵埃が堆積するような場合には設置場所を見直してください。
その他	⑪	Yes? <input type="checkbox"/>	DAT72装置(サーバ内蔵の場合はサーバ本体)の電源を切る場合や再起動時には、データカセットを取り出す運用になっていますか？	一般にテープ装置は、データカセット取り出し時のみテープに管理情報の書き込み処理を行う場合があります。このため、テープ装置にデータカセットを入れたまま電源を切断すると管理情報が書き込まれない異常テープが生成され、データリストア失敗等の問題に繋がります。 ●テープ装置(サーバ本体)の電源を切るときは、予めデータカセットを取り出してから電源を切断してください。 なお、オートローダ装置の場合には、データカセットをスロット側に戻しておくだけで結構です。
	⑫	Yes? <input type="checkbox"/>	バックアップ業務には複数本のデータカセットを用い、世代管理する運用になっていますか？(毎回同じデータカセットを使用する運用になっていませんか？)	1巻のテープ(データカセット)でバックアップを繰り返すような運用では、バックアップ失敗時に、一時的に重要なバックアップデータが無くなる状態になります。 ●バックアップ業務には複数本のデータカセットを用い、世代管理する運用にしてください。